

# ノリ海況速報 第12報 (2022-12)

令和5年3月24日発行  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 千葉県農林水産技術会議

資料 ノリ海況調査 3/3：内房（ふさみ丸），3/6：内湾（ふさなみ）

## 【 水温・塩分の状況 】

- 表層水温は内湾北部が10.6～10.8℃、盤洲周辺が10.6～11.0℃、富津周辺が10.7～13.3℃でした。表層塩分は内湾北部が31.3～31.5、盤洲周辺が32.1～32.5、富津周辺が31.3～33.7でした。
- 内湾のノリ漁場への沖合水（高温，高塩分）の波及はみられませんでした。（図1，2）。

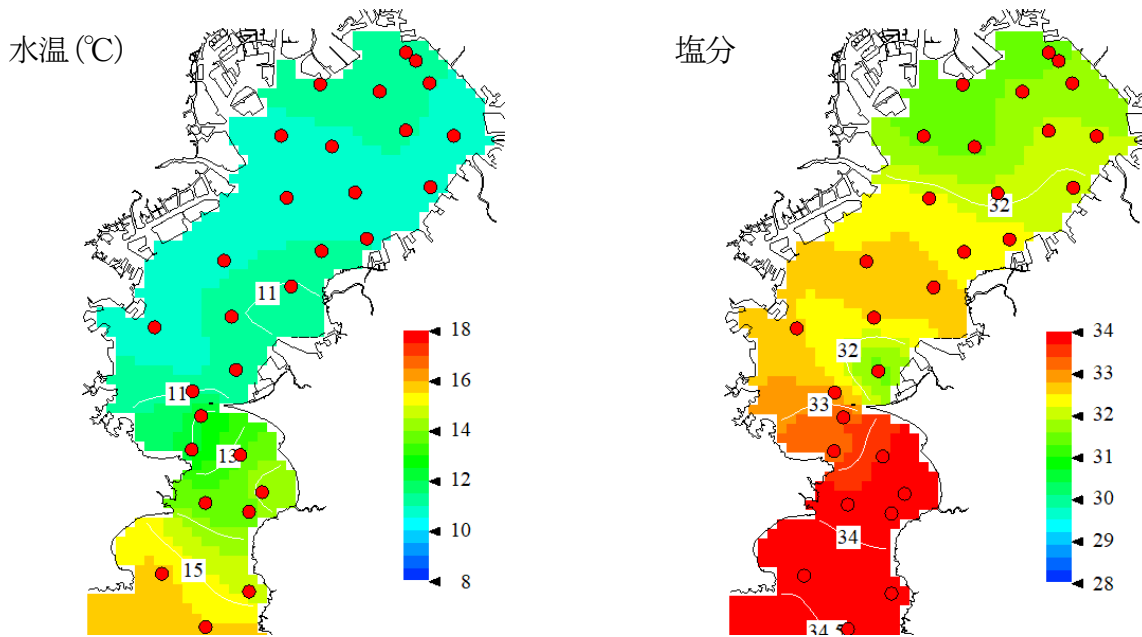


図1 表層の水温・塩分

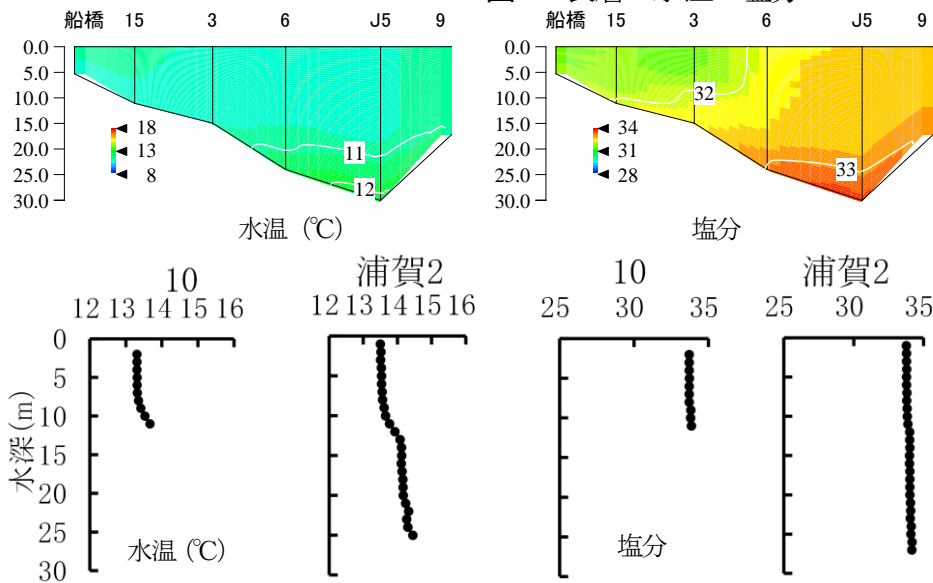


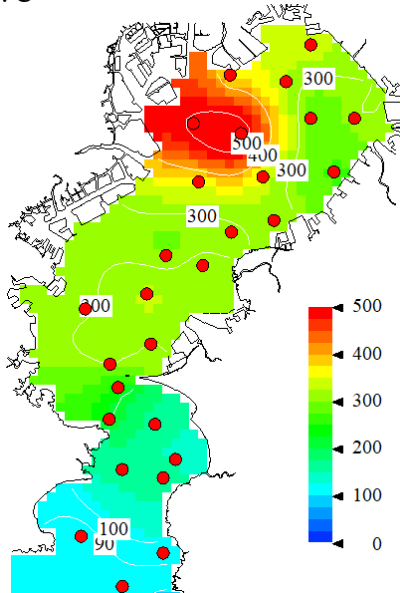
図2 縦断面の水温・塩分の鉛直分布  
 上：内湾，下：内房北部，右：調査ライン

## 【 赤潮・栄養塩の状況 】

- ・ 内湾の全域で珪藻が発生し、特に北部で多くみられました。透明度は2.9～8.0 m でした。
- ・ プランクトンの優占種は、珪藻ユーカンピア属、リゾソレニア属などでした。
- ・ ノリ漁場付近の栄養塩は、窒素が内湾北部で319～347  $\mu\text{g/L}$ 、盤洲周辺で292～313  $\mu\text{g/L}$ 、富津周辺で145～303  $\mu\text{g/L}$ 、リンが内湾北部、盤洲周辺で5  $\mu\text{g/L}$  以下、富津周辺で5  $\mu\text{g/L}$  以下～7  $\mu\text{g/L}$  でした (図3)
- ・ 東京湾全域のノリ漁場でリンがノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベルを下回っていました。現在の優占種 (ユーカンピア属、リゾソレニア属) は栄養塩濃度が低くても、増殖可能な種です。栄養塩の少ない状況が続く可能性がありますので、注意してください。

東京湾の赤潮の基準：酸素飽和度 150%以上、透明度 1.5 m 以下、pH8.5 以上  
 高色調のノリの生産に必要なレベル： 窒素 110  $\mu\text{g/L}$  リン 8  $\mu\text{g/L}$   
 ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル：窒素 90  $\mu\text{g/L}$  リン 5  $\mu\text{g/L}$

(DIN,  $\mu\text{g/L}$ )



(DIP,  $\mu\text{g/L}$ )

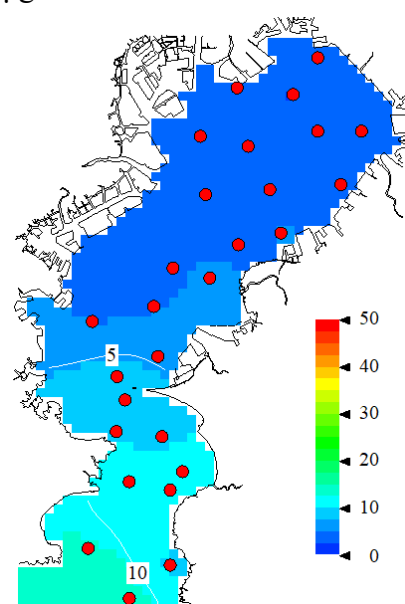


図3 表層の栄養塩濃度の分布

### ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各ノリ養殖場 (三番瀬、盤洲北部、盤洲南部、富津岬北、富津岬南) について、5日先まで表層水温を予報します。千葉県水産総合研究センターのHP、もしくは右のQRコードからご覧ください。

### 東京湾漁業・環境情報提供システム

最新の東京湾の環境情報、赤潮発生を目安 (人工衛星画像)、各地の水温変化 (モニタリングポスト)、沖合水の侵入の目安 (潮位)、水温変化の目安 (表層水温、底層水温分布) などを表示しています。千葉県水産総合研究センターのHP、もしくは右のQRコードからご覧ください。

パソコン： [http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main\\_frame.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html)

携帯： [http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile\\_forecast.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html)

